

令和元年 9 月 18 日

那須烏山市議会議長 沼 田 邦 彦 様

総務企画常任委員会委員長 小 堀 道 和

決算審査結果報告書

本委員会に令和元年 9 月 9 日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成 17 年 10 月那須烏山市議会規則第 1 号）第 109 条の規定により報告します。

- 1 審査期日 令和元年 9 月 10 日（火）及び 11 日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第一委員会室
- 3 出席委員 小堀道和、興野一美、堀江清一、矢板清枝、高田悦男
- 4 説明のための出席者
会計管理者兼会計課長 高濱裕子、総合政策課長 石川浩、まちづくり課長 佐藤博樹、
総務課長 福田守、税務課長 澤村誠一、議会事務局長 大谷啓夫、他関係職員

5 審査事項

本委員会の所管する総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会の平成 30 年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出決算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

総合政策課

- ・平成 30 年度において将来負担比率が初めてゼロになったことは、地方債発行の抑制及び基金積立ての増加に日々努められた結果だと思われる。有利な財源を活用するなど、これからも財政の健全化に向け努力されたい。また、ふるさと応援寄附金については、制度の趣旨を踏まえ返礼品を見直したが、市内で体験できるレジャーやスポーツ等、交流人口の増加につながるものを追加するなどし、自主財源の確保に努められたい。

- ・次期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたり、事業の選択と集中、重要業績評価指標（KPI）による効果検証のあり方について検討されたい。
- ・全国広報コンクール写真の部において、2年連続入賞するなど高い評価を得ている。広報なすからすやまについては、市民への情報発信として、見やすく親しみやすい紙面づくりに今後も期待する。

まちづくり課

- ・デマンド交通については、隣接自治体との広域連携及びコールセンターの効率的な運営方法について検討されたい。なお、高齢者の運転免許証返納が進んでいるため、早急な対応を願いたい。
- ・JR烏山線については、Suica導入の要望を継続するとともに、職員一丸となって、利用向上に向けたさらなるアイデアを期待したい。
- ・移住に関する相談が増えたとのことだが、空き家の改修、空き家と農地を合わせて提供する等、移住希望者のニーズに合わせた柔軟な対応を検討されたい。
- ・地域おこし協力隊については、隊員の市内定着に向け、専門的な助言・指導等も含め、任期終了後も本人に寄り添った支援を実施されたい。

総務課

- ・防火水槽及び消火栓については、地元消防団と連携し、適正管理に努められたい。また、防災意識の向上を図るため、ハザードマップを十分活用するとともに、避難訓練を取り入れるなど、実効性の高い防災訓練が各地域で実施されるよう働きかけられたい。
- ・人事評価制度の適正運用及び働き方改革の推進をし、職員が意欲を持って働けるような意識づけに取り組むとともに、業務の外部委託や市民協働を視野に入れ、住民サービスの低下のない、人口規模に見合った組織及び職員数にできるよう努められたい。

税務課

- ・法律に基づく財産調査、差し押さえ等の徴収事務に日々努められ、徴収率は改善されているが、固定資産税における大口滞納の影響で市税徴収率が依然、県内最下位であることから、今後も県や国などと連携して対応するとともに、市民に不公平感や誤解を与えないよう丁寧な周知を求める。また、土地や建物、償却資産の把握を適正に行い、正しい課税につながるよう努められたい。
- ・納付方法として、市役所窓口だけではなくコンビニ納付や口座振替の推進により、納付しやすい環境の整備及び窓口業務の改善に努められたい。